



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
コード番号 3286 URL <http://www.trust-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

(氏名) 喜久田 匡宏
(氏名) 宮石 啓司
配当支払開始予定日

TEL 092-437-8944
平成27年2月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	4,847	△20.6	△139	—	△239	—	△179	—
26年6月期第2四半期	6,106	—	466	—	395	—	193	—

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 △178百万円 (—%) 26年6月期第2四半期 193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	△37.96	—
26年6月期第2四半期	40.88	40.46

(注) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立したため、平成26年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
27年6月期第2四半期	15,379		939		6.1		198.30	
26年6月期	12,853		1,156		9.0		244.56	

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 939百万円 26年6月期 1,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	8.20	—	8.20	16.40
27年6月期	—	8.20	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	8.20	16.40

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 平成26年6月期第2四半期末の配当原資は、その他資本剰余金であります。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	13.2	580	△15.7	430	△19.5	220	34.9	46.53

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	5,165,000 株	26年6月期	5,160,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	427,185 株	26年6月期	432,085 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	4,730,799 株	26年6月期2Q	4,727,000 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与ESOP信託が所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順等から個人消費は弱含みで推移いたしました。政府・日銀による経済政策や大胆な金融政策などを背景として、企業業績の向上や雇用環境の改善など、着実に景気回復の兆しが見られてきております。

このような状況の中、当社グループは駐車場事業におきましては、既存駐車場の活性化及び新規駐車場の開発に注力、不動産等事業におきましては、当第2四半期連結累計期間においては新築マンションの竣工はありませんでしたが、前連結会計年度竣工の「トラスト大牟田カルディオ（福岡県大牟田市）」及び「トラストネクサス新椋野（山口県下関市）」20戸の引渡しを実施、全戸完売となりました。

なお、当連結会計年度においては新築マンション3棟156戸「トラスト前原中央ネクサージュ（福岡県糸島市、72戸、平成27年1月竣工）」、「トラストネクサス小野田駅前（山口県山陽小野田市、36戸、平成27年2月竣工予定）」、「トラストネクサス長崎オーシャンコート（長崎県長崎市、48戸、平成27年5月竣工予定）」の竣工を予定しておりますが、竣工時期がいずれも第3四半期連結会計期間以降となっております。従いまして第2四半期連結会計期間までは、不動産販売関連経費を先行して負担することになり、経常損失となっておりますが、年度計画においては経常利益430百万円を確保する計画としております。

以上の結果、売上高は4,847,366千円（前年同期比20.6%減）、営業損失139,848千円（前年同期は466,131千円の営業利益）、経常損失239,205千円（前年同期は395,520千円の経常利益）、四半期純損失は179,597千円（前年同期は193,251千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますが、「ウォーター事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第2四半期連結累計期間における該当事項はありません。

①駐車場事業

主に前連結会計年度にオープンした駐車場の早期収益化を図ることを中心とした既存駐車場の活性化に注力することに加え、低採算駐車場の地代交渉、閉鎖等の実施、新規駐車場の開発等を積極的に行い、前第2四半期連結累計期間における営業利益が67,875千円と低迷した駐車場事業の大幅な収益改善を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は3,427,557千円（前年同期比17.6%増）、営業利益249,727千円（同267.9%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の駐車場数は779ヶ所（前年同期より80ヶ所増、前連結会計年度末より17ヶ所増）、車室数は29,020車室（前年同期より3,319車室増、前連結会計年度末より970車室増）となっております。

②不動産等事業

前第2四半期連結累計期間においては、新築マンション「トラスト新宮中央ネクサージュ（福岡県糟屋郡新宮町）」が竣工、119戸の引渡しを行ったのに対し、当第2四半期連結累計期間においては新築マンションの竣工がありませんでしたが、前連結会計年度竣工のマンション「トラスト大牟田カルディオ（福岡県大牟田市）」、「トラストネクサス新椋野（山口県下関市）」20戸の引渡しを実施、全戸完売となりました。

以上の結果、売上高567,540千円（前年同期比81.9%減）、営業損失169,493千円（前年同期は412,049千円の営業利益）となりました。

③ウォーター事業

水素水の販売を中心として行うウォーター事業につきましては、前連結会計年度より段階的に事業を開始いたしましたが、当第2四半期連結累計期間におきましては、認知度向上、固定客確保のため、先行投資として広告宣伝費等を積極的に投入してまいりました。

以上の結果、売上高447,985千円、営業損失191,839千円となりました。

④その他事業

その他事業につきましては、前連結会計年度より運営を開始いたしました温浴施設「那珂川清滝（福岡県筑紫郡那珂川町）」をはじめとし、ゴルフ練習場「カスタネット倶楽部水巻（福岡県遠賀郡水巻町）」、広告事業、メディアカルサービス事業等の新規事業は概ね堅調に推移いたしました。また、警備事業におきましても、徐々にではありますが契約を積み重ねてまいりました。

以上の結果、売上高404,283千円（前年同期比619.1%増）、営業損失14,993千円（前年同期は18,889千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して5,569,670千円増加し、9,894,571千円となりました。これは主に、販売用不動産の増加4,312,177千円、仕掛販売用不動産の増加890,158千円、商品及び製品の増加45,318千円等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末と比較して3,044,244千円減少し、5,484,792千円となりました。これは主に、土地の減少2,295,973千円、建物及び構築物の減少1,018,715千円、償却によりのれんが46,941千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は15,379,363千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,525,426千円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,581,408千円増加し、6,808,103千円となりました。これは主に、買掛金の増加37,277千円、短期借入金の増加1,509,200千円、1年内返済予定の長期借入金の増加95,511千円、未払法人税等の減少118,849千円等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末と比較して1,160,776千円増加し、7,631,707千円となりました。これは主に、長期借入金の増加1,100,198千円等によるものであります。

この結果、負債合計は14,439,811千円となり、前連結会計年度末に比べ2,742,185千円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して216,758千円減少し、939,552千円となりました。これは主に、配当金の支払40,466千円、四半期純損失の計上179,597千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は6.1%（前連結会計年度末は9.0%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し234,683千円増加し、1,549,073千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、433,675千円（前年同期は378,096千円の取得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失252,912千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費262,632千円、駐車場設備等の減損損失14,365千円、のれん償却額46,941千円、売上債権の増加による減少額87,188千円、たな卸資産の増加による減少額547,728千円、利息の支払額95,903千円、法人税等の支払額139,159千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,855,058千円（前年同期は2,026,653千円の使用）となりました。これは主に、福岡市中央区の駐車場用地の取得等に係る有形固定資産の取得による支出1,719,290千円、貸付けによる支出98,770千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出48,908千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、2,523,417千円（前年同期は1,393,204千円の取得）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額1,509,200千円、長期借入れによる収入1,780,000千円と長期借入金の返済による支出584,290千円、リース債務の返済による支出112,221千円、配当金の支払額40,267千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました「平成26年6月期決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間において、株式会社ジーエートラストを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を資産又は負債に計上しております。

当該会計方針の変更による影響はありません。

なお、従業員へ割り当てられたポイントに対する引当金については、内容をより明瞭に表示するため「退職給付に係る負債」から「株式給付引当金」に表示科目を変更しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,425	1,626,311
受取手形及び売掛金	242,573	329,761
販売用不動産	750,906	5,063,083
仕掛販売用不動産	1,230,581	2,120,740
商品及び製品	13,510	58,828
原材料及び貯蔵品	26,953	20,687
その他	674,598	680,832
貸倒引当金	△4,648	△5,674
流動資産合計	4,324,900	9,894,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,099,129	1,080,414
土地	4,151,736	1,855,762
その他(純額)	670,736	919,822
有形固定資産合計	6,921,602	3,856,000
無形固定資産		
のれん	563,693	516,751
その他	170,791	181,463
無形固定資産合計	734,484	698,214
投資その他の資産		
その他	875,197	931,716
貸倒引当金	△2,247	△1,139
投資その他の資産合計	872,949	930,577
固定資産合計	8,529,037	5,484,792
資産合計	12,853,937	15,379,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,050	189,328
短期借入金	2,754,000	4,263,200
1年内返済予定の長期借入金	938,951	1,034,463
未払法人税等	155,055	36,206
ポイント引当金	20,725	19,518
返品調整引当金	—	404
資産除去債務	1,757	5,557
その他	1,204,153	1,259,425
流動負債合計	5,226,695	6,808,103
固定負債		
長期借入金	5,808,491	6,908,689
株式給付引当金	5,571	5,667
退職給付に係る負債	32,588	32,578
資産除去債務	44,963	42,446
その他	579,316	642,326
固定負債合計	6,470,931	7,631,707
負債合計	11,697,626	14,439,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	418,561	419,059
資本剰余金	219,651	220,149
利益剰余金	726,411	506,347
自己株式	△208,072	△206,503
株主資本合計	1,156,550	939,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△251	483
その他の包括利益累計額合計	△251	483
少数株主持分	11	16
純資産合計	1,156,311	939,552
負債純資産合計	12,853,937	15,379,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,106,051	4,847,366
売上原価	4,687,895	3,692,786
売上総利益	1,418,155	1,154,580
販売費及び一般管理費	952,024	1,294,428
営業利益又は営業損失(△)	466,131	△139,848
営業外収益		
受取利息	484	11,129
受取配当金	116	88
受取手数料	4,000	—
投資有価証券売却益	1,957	1,904
その他	4,658	7,999
営業外収益合計	11,216	21,121
営業外費用		
支払利息	60,638	98,029
その他	21,189	22,450
営業外費用合計	81,827	120,479
経常利益又は経常損失(△)	395,520	△239,205
特別利益		
固定資産売却益	154	674
特別利益合計	154	674
特別損失		
減損損失	20,039	14,365
固定資産除却損	—	15
特別損失合計	20,039	14,381
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	375,636	△252,912
法人税、住民税及び事業税	169,242	26,949
法人税等調整額	13,145	△100,269
法人税等合計	182,387	△73,320
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	193,249	△179,592
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	193,251	△179,597

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	193,249	△179,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406	734
その他の包括利益合計	406	734
四半期包括利益	193,655	△178,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,657	△178,863
少数株主に係る四半期包括利益	△2	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	375,636	△252,912
減価償却費	169,461	262,632
減損損失	20,039	14,365
のれん償却額	27,784	46,941
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,232	△82
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,399	△1,207
株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,951	1,664
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,583	△10
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	404
受取利息及び受取配当金	△601	△11,217
支払利息	60,638	98,029
固定資産除却損	3,378	2,234
有形固定資産売却損益(△は益)	△154	△674
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,957	△1,904
売上債権の増減額(△は増加)	14,792	△87,188
たな卸資産の増減額(△は増加)	500,737	△547,728
仕入債務の増減額(△は減少)	△370,835	37,277
その他	△154,112	158,788
小計	650,175	△280,587
利息及び配当金の受取額	601	11,217
利息の支払額	△60,379	△95,903
法人税等の支払額	△258,561	△139,159
法人税等の還付額	46,259	70,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,096	△433,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,204	△1,203
定期預金の払戻による収入	5,004	1
有形固定資産の取得による支出	△1,833,966	△1,719,290
無形固定資産の取得による支出	△101,608	△29,399
有形固定資産の売却による収入	227	—
投資有価証券の取得による支出	△45,056	△39,031
投資有価証券の売却による収入	32,035	51,920
貸付けによる支出	△35,650	△98,770
貸付金の回収による収入	125	21,862
敷金の差入による支出	△39,363	△48,908
敷金の回収による収入	7,711	16,755
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,231	—
その他	△10,141	△8,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,026,653	△1,855,058

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	678,770	1,509,200
長期借入れによる収入	1,610,000	1,780,000
長期借入金の返済による支出	△769,820	△584,290
リース債務の返済による支出	△85,677	△112,221
配当金の支払額	△40,077	△40,267
株式の発行による収入	—	996
少数株主からの払込みによる収入	10	—
その他	—	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,393,204	2,523,417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,352	234,683
現金及び現金同等物の期首残高	1,584,329	1,314,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,328,976	1,549,073

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,915,567	3,134,259	6,049,826	56,224	6,106,051	—	6,106,051
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,212	6,161	7,374	20,823	28,197	(28,197)	—
計	2,916,780	3,140,420	6,057,200	77,047	6,134,248	(28,197)	6,106,051
セグメント利益 又は損失(△)	67,875	412,049	479,924	△18,889	461,035	5,096	466,131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去92,886千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,224千円及び棚卸資産等の調整額1,433千円が含まれております。全社費用の主なもの、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。また、経営環境および今後の見通しを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失が発生しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては16,436千円(うち、のれんの減損損失は、6,826千円)であります。

「不動産等事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した設備の簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,602千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「駐車場事業」セグメントにおいて、経営環境および今後の見通しを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は6,826千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年7月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	ウォーター 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,427,557	567,540	447,985	4,443,082	404,283	4,847,366	—	4,847,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,620	13,051	942	15,613	26,373	41,987	(41,987)	—
計	3,429,177	580,591	448,928	4,458,696	430,657	4,889,353	(41,987)	4,847,366
セグメント利益又は損失(△)	249,727	△169,493	△191,839	△111,606	△14,993	△126,599	△13,248	△139,848

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業、アミューズメント事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去158,014千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,289千円及び棚卸資産等の調整額26千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「ウォーター事業」について金額的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、「ウォーター事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第2四半期連結累計期間における該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては14,365千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。